

◎ 800名で「つんの～で」！

～第21回つんの～で歩行ラリー～



開会式の様子

「つんの～で」。

長崎の方言で「連れ立って行く」という意味ですが、今ではあまり耳にしなくなった言葉です。その方言を使った「つんの～で歩行ラリー」が、12日(日)に絶好の歩行日和の中で開催されました。

今年は中里小学校が運営を担当し、当日はグラウンドに約800名の参加者と400名のスタッフが集まりました。中里中学校の生徒会役員が司会進行や運営を担当し、プラスバンド部はスタート時とアトラクションの演奏で大会に花を添えました。そのすばらしい活躍には、大会役員の皆様も感心され、感謝の言葉もいただきました。

今年で21回目となったこの催しですが、大会会長様からは、かつては毎年開催されていた地域の大運動会が、参加者の減少と共に中止され、気軽に参加できる催しとして「つんの～で歩行ラリー」がスタートしたと伺いました。また、昼食に用意されたおにぎりは、120kgの米が使われていることも知りました。21年間にわたって、多くの方々の苦勞と地域を愛する心がつまった歩行ラリー。ふるさとの自然と歴史を感じる催しとして、いつまでも大切にしたいと思っています。来年度は皆瀬小学校を会場として行われます。また来年つんの～で歩きましょう！



◎ 「本に恋する季節です！」

～第71回読書週間標語～



先週9日(木)までの一週間は、第71回読書週間として読書の推進に向けて全国で様々な企画が実施されました。本校でも本日、朝読書の時間を利用して、ボランティアの皆様にも全クラスで「絵本の読み聞かせ」を行っていただきました。

二年前、絵本作家の「くすのきしげのり」さんの講演を聴く機会がありました。それまでは、「絵本」は小さな子どもたちの読み物という印象を持っていましたが、絵と短い文章の中に込められた作家の深い思いを知ること、絵本のすばらしさを再認識させられました。お忙しい中、心に残る「読み聞かせ」をしていただきました図書ボランティアの皆様にも心より感謝申し上げます。

【お勧めの絵本】

『おこだでませんように』 作 くすのきしげのり

「ぼくは、いつでもおこられる。家でも学校でも……。休み時間に、友だちがなかまはずれをするからなぐつたら、先生にしかられた」いつも誤解されて損ばかりしている少年が、七夕さまの短冊に書いた願い事とは……。



◇新生徒会役員 改選近づく◇

新生徒会役員の立候補受付が、13(月)に締め切られ、これから投票日まで立候補者による選挙運動が始まります。

～立会演説会＆投票～
11月29日(水)

～雑感～

「想定外」。東日本大震災の時によく耳にした言葉ですが、最近、学校生活の中でも、子どもたちの「想定外」の行動に驚かされることがよくあります。うれしい想定外なものの、逆の想定外は残念でなりません。やってはいけないことを止められる強い意志を、しっかりと身につけたいと思います。